

2015 卒業試験 再現問題 Aブロック

(A1)

挫傷の好発部位はどこか？

- a 頭部
- b 頸部
- c 胸部
- d 腹部
- e 臀部

(A2)

40歳の女性。動悸と息切れとを主訴に来院した。10日前から月経出血が止まらず、出血量もこれまでより多かった。さらに数日前から階段を昇るときに息切れと動悸とを感じるようになった。脈拍 96/分、整。血圧 120/78mmHg。皮膚は蒼白で前胸部と下腿とに点状出血を認める。心音と呼吸音とに異常を認めない。腹部は平坦、軟で、肝・脾を触知しない。血液所見：赤血球 250 万、Hb 7.5g/dL、Ht 24%、網赤血球 3%、白血球 8,800(骨髄球 1%、桿状核好中球 9%、分葉核好中球 55%、好酸球 1%、単球 9%、リンパ球 25%)、血小板 3,000。骨髄血塗抹 May-Giemsa 染色標本(A, B)を次に示す。

最も考えられるのはどれか。 105D-27

- a 血栓性血小板減少性紫斑病(TTP)
- b 特発性血小板減少性紫斑病(ITP)
- c 急性骨髄性白血病
- d 慢性骨髄性白血病
- e 再生不良性貧血

(A3)

重症筋無力症で典型的な症状に含まれないのはどれか

- a 眼瞼下垂
- b 呼吸障害
- c 嚥下障害
- d 排尿障害
- e 夕方に増悪する筋力低下

(A4)

てんかんに関する記述で誤っているものはどれか

- a. てんかんの有病率はおおよそ 1%である
- b. 海馬硬化の原因として熱性けいれんがあげられる
- c. 前兆予測の診断として病歴聴取が重要である
- d. 高齢者のてんかんの原因として最も多いのは、感染症である
- e. 適切な薬剤治療によって、発作の約 70%をコントロールできる

(A6)

新しく発売された抗菌薬 A の肺炎に対する治療効果を調べるために、新たに入院する肺炎患者を対象として、抗菌薬 A を投与した群 (A 群) と既存の抗菌薬 B を投与した群 (B 群) とに割り付けて、治療効果を入院期間で比較検討した。得られた結果を表に示す。

	A 群	B 群	P 値
対象者数	198 人	201 人	
入院期間 (平均)	8.1 日	9.6 日	0.036

この結果の解釈について正しいのはどれか。

- a A 群は B 群に比べて入院期間が平均で 3.6% 短い。
- b A 群の入院期間の平均値の誤差は 3.6% 以内である。
- c A 群の方が B 群より入院期間が短くなる確率は 3.6% である。
- d A 群の 96.4% の患者は入院期間が B 群の平均入院期間よりも短い。
- e A 群と B 群とで入院期間に差がないのに、誤って差があるとする確率は 3.6% である。

(105B43)

(A7)

視力障害を主訴に来院。角膜、水晶体に異常無し。眼圧左 13mmhg 右 16mmhg。

眼底所見 乳頭部陥凹無し 静脈が乳頭上で曲がっている。視野検査 右目:右下 1/4 に暗点 左下中央に弓状暗点

- a 視神経炎
- b 開放隅角緑内障
- c 白内障
- d 糖尿病
- e 中心性静脈閉塞症

(A8)

ボツリヌス中毒で認められないもの

- a, 縮瞳
- b, 眼瞼下垂
- c, 輻輳反射消失
- d, 対光反射消失
- e, 眼球頭反射消失

(A10)

膀胱腫瘍で壁内深達度の診断に有用なのはどれか。

- a 膀胱鏡検査
- b 骨盤部 MRI
- c 逆行性膀胱造影
- d 骨盤部血管造影
- e 腹部超音波検査

(A12)

我が国の 2011 年の国民医療費について正しいのはどれか。2 つ選べ。

- a. 患者 4 割負担である
- b. 訪問介護を含む
- c. 健康診断を含む
- d. 国民医療費の総額は 10 年前に比べ増加している
- e. 国民 1 人あたりの医療費は 10 年前に比べ増加している

(A14) (107D47)

32 歳の女性。挙児希望のため不妊外来を受診し、その後内科外来へ紹介された。現在妊娠していない。18 歳で糖尿病と診断されたがそのままにしていた。身長 154cm、体重 62kg。尿所見：蛋白（－）、糖 2＋、ケトン体（－）。血液生化学所見：血清インスリン 8.7 μ U/mL（基準 5～15）、抗 GAD 抗体 0.6U/mL（基準 1.5 以下）、尿中アルブミン排泄量 8.6mg/gCr（基準 30 未満）。随時血糖 208mg/dL、HbA1c（NGSP）7.8%（基準 4.6～6.2）。眼底検査で網膜黄斑部に点状出血を認める。まず行うべき治療はどれか。

- a 食事療法
- b ビグアナイド薬の投与
- c スルホニル尿素薬の投与
- d インクレチン関連薬の投与
- e 超速効型インスリンの投与

(A16)

妊娠時高値

- a. 血圧
- b. 腔内 pH
- c. 空腹時血糖
- d. 腎糸球体濾過値
- e. 血漿フィブリノゲン

(A17)(108E54)

36歳女性 1 経妊 1 経産。第一子が down 症。第二子の検査希望。

まず行う対応は？

- a 羊水検査
- b 絨毛検査
- c 両親の染色体検査
- d 遺伝カウンセリング
- e 母体血清マーカー検査

(A21)

裂孔原性網膜剥離について正しいものひとつ

- a. 目が乾く
- b. めまいがする
- c. 物が二重に見える
- d. カーテンが引かれるような視野欠損がある
- e. 目の奥の痛み、吐き気

(A22)(107G5 改変)

母子保健法による母子保健事業としておこなわれていないのはどれか

- a. 母子健康手帳
- b. 出生証明書
- c. 妊婦健診
- d. 未熟児の医療費？訪問指導？
- e. 3 歳児健診

(A24) (103E10)

ノーマライゼーションで正しいのはどれか。3 つ選べ。

- a 障害者の自立
- b 身体機能の正常化
- c 経済的支援の促進
- d 社会的理解の促進
- e 障害者の社会における普通の生活の実現

(A26)

吸入療法をしたがよくならなかったなので経口薬投与した。副作用で謝ってるものを選び。

- a 肺炎
- b 白内障
- c 骨粗鬆症
- d 糖尿病
- E ネフローゼ症候群

(A27)

頸静脈怒張をきたさないものはどれか

- a, 緊張性気胸
- b, 高位脊椎損傷
- c, 収縮性心膜炎
- d, 肺血栓塞栓
- e, アナフィラキシー

(A28)

68 歳男性。10 年前に胃癌にて胃全摘を受けている。最近、息切れがして、足先の感覚が鈍い。血液検査:赤血球 175 万、Hb 8.4g/dl、Ht 24.5%、その他正常範囲内。考えられる疾患は。

- a,巨赤芽球性貧血
- b,再生不良性貧血
- c,骨髓異形成症候群
- d,自己免疫性溶血性貧血
- e,発作性夜間血色素尿症

(A29)(108A22)

40 歳の女性。呼吸困難を主訴に搬入された。約 20 分前、勤務中に突然息苦しさが出現した。半年前から、1 ヶ月に数回程度、突然息苦しさが出現し、同時に動悸、めまい感、悪心および意識を失いような恐怖を感じたという。いずれも 10～30 分で症状は完全に消えた。内科で精査したが発作時の心電図検査を含めて異常はみられていない。今後みられる可能性が高い症状はどれか。

- a 解離
- b 強迫
- c 失神
- d 過覚醒
- e 予期不安

(A30) (108D6)

高齢者の複雑部分発作の治療薬として最も適切なのはどれか。

- a バルプロ酸
- b ジアゼパム
- c クロナゼパム
- d カルバマゼピン
- e フェノバルビタール

(A33) (105D25)

76歳の男性。黄疸を主訴に来院した。3日前に家族に皮膚の黄染を指摘されていた。3年前に唾液腺腫瘍を摘出した。飲酒は機会飲酒。意識は清明。身長168cm、体重57kg。体温36.4℃。呼吸数16/分。脈拍72/分、整。血圧126/82mmHg。眼球結膜に黄染を認める。心音と呼吸音とに異常を認めない。肝・脾を触知しない。尿所見：蛋白（－）、糖1＋。血液所見：赤血球465万、Hb14.1g/dL、Ht45%、白血球8,100、血小板16万。血液生化学所見：血糖201mg/dL、HbA1c（NGSP）7.1%（基準4.6～6.2）、総蛋白9.6g/dL、アルブミン4.6g/dL、尿素窒素19mg/dL、クレアチニン0.5mg/dL、総ビリルビン6.8mg/dL、AST86IU/L、ALT78IU/L、LD540IU/L（基準176～353）、ALP1,230IU/L（基準115～359）、Na138mEq/L、K4.0mEq/L、Cl102mEq/L。免疫学所見：CRP0.8mg/dL、IgG3,890mg/dL（基準739～1,649）、IgA118mg/dL（基準107～363）、IgM132mg/dL（基準46～260）、CEA2.8ng/mL（基準5以下）、CA19-926U/mL（基準37以下）。腹部造影CT（A）と内視鏡的逆行性胆管膵管造影写真（ERCP）（B、C）とを次に示す。原因として最も考えられるもの

1IGG4 2抗ミトコンドリア抗体 3抗平滑筋抗体 4RA因子

(A35)

血液生化学所見で正しいものを2つ選べ

- a LDHは臓器特異性が高い
- b 門脈周囲域の炎症で上昇するのはALT
- c 血清アミラーゼの80%は膵性(P型)
- d Bence Jones 蛋白は抗体のlight chain由来である
- e 免疫応答において最初に増加するのはIgGである

(A38)

十二指腸閉塞をきたすのは？

- a 薬剤性腸炎
- b 十二指腸憩室
- c 上腸間膜動脈症候群
- d 好酸球性腸炎
- e 十二指腸粘膜下異所性膵

(A39) (90D27)

67 歳の男性。5 年前に左心不全を伴う心筋梗塞で 3 ヶ月入院した。退院後も階段や坂道で息切れと動悸とを感じていた。2 週間前から平地を歩いても息苦しく、夜間床に就くと空咳と呼吸困難とを生じるようになった。呼吸困難で寝ていられないので救急車で来院した。来院時、四肢に冷感と冷汗とはない。呼吸数 24/分。脈拍 102/分、整。血圧 120/86mmHg。全肺野に湿性ラ音を聴取する。下肢に浮腫を認め、腫大した肝を触れる。

この患者の Swan-Ganz カテーテルの検査結果として最も考えられるのはどれか。

平均右房圧 (mmHg) 平均肺動脈楔入圧 (mmHg)

心係数 (L/min/m²)

- a 0 4 1.5
- b 4 21 1.5
- c 4 21 2.5
- d 15 10 1.5
- e 15 21 2.5

この問題の改題だと思います。数値は若干違いました。画像は肺水腫になってました。

(A40)

正常妊娠について、正しいものを 3 つ

- a. 血圧は上昇する
- b. 空腹時血糖は低下する
- c. 尿中 hCG で妊娠反応を調べる
- d. 超音波で妊娠 4 週で胎嚢が認められる
- e. 妊娠 35 週では、ノンストレステストで一過性頻脈が認められる

(A41)

気管支鏡検査について正しいものはどれか。

- 1. 結核を合併している場合は禁忌。
- 2. 緊張性気胸の検査及び治療として用いられる。
- 3. 早期肺門部癌の検索には蛍光よりも白色光のほうが有用。
- 4. 気管支肺胞洗浄は気管分岐部で行われる。
- 5. 局所麻酔薬の過剰噴射には不整脈、〇〇、〇〇などの副作用がある。

(A45)

橈骨動脈の拍動とほぼ同時に聴取するのは

- A, I 音
- B, II A 音
- C, II P 音
- D, III 音
- E, IV 音

(A48)

胃癌について当てはまっているものを2つ選べ

- 1 早期ガンではⅡcが多い
- 2 浸潤がんでは1がおおい
- 3 潰瘍には内視鏡禁忌
- 4 ヘリコバクターピロリ菌が関係している

(A49)(108-I68)

52歳男性、排尿困難を主訴に来院した。6ヶ月前から夜間に尿意で目が覚めるようになった。1ヶ月前から頻尿となり、2週前から排尿の開始までに時間がかかることを自覚している。慎重 172cm、体重 68kg、体温 36.4℃、脈拍 72bpm、血圧 134/82mmHg、呼吸数 12 回/分、腹部は平坦、軟。直腸指診で小鶏卵大で男性硬の前立腺を触知し、圧痛を認めない。尿所見：蛋白(－)、糖(－)、沈差：RBC1-4/1視野、WBC1-4/1 視野。血液生化学所見：PSA 2.8ng/ml(基準4以下)、国際前立腺症状スコア 18 点(中等症 8-19 点)、腹部超音波画像(A,B)を示す。前立腺体積は 46ml、残尿量は 80ml であった。

画像もQBのウロに同じの乗ってます。典型的なBPHのエコー画像です。

まず行う対応として適切なのはどれか。

- a 経過観察
- b 自己導尿の指示
- c α1 遮断薬の内服
- d 経尿道的前立腺切除術
- e 抗コリンエステラーゼ薬の内服

(A53) (108G32)

子宮付属器について正しいのはどれか

- 1.卵管膨大部で受精する
- 2.卵管には蠕動運動がある
- 3.黄体は排卵前から形成される
- 4.卵巣は円靭帯で子宮とつながる
- 5.原始卵胞は卵巣の髄質層にみられる

(A57)

我が国の心臓移植の現状について正しいもの

- a 待機時間が短い
- b 若者が多い
- c 近年急速に増えている
- d 虚血性心疾患が一番多い
- e 術前にはすでに強心薬、補助循環装置などがなされている

(A58)

41 歳、男性。2 か月前から箸が使いにくくなり受診。身長 171 cm、体重 67kg。1 度高血圧があるが、他バイタル問題なし。徒手筋力テストで上下肢 4。感覚障害なし、小脳失調なし。

この患者に行うべき検査は何か。

- a 脳波
- b 頭部 MRI
- c 針筋電図
- d 誘発筋電図
- e

(A60) (103D49)

74 歳女性、左目の視力低下、1 週間前から鈍痛を自覚。50 年前に副鼻腔炎で手術の既往 CT,MRI を示す。

- a 経過観察
- b 抗菌薬投与
- c 上顎洞穿刺
- d 眼窩減圧術
- e 篩骨洞手術

(A63)

小児の特発性ネフローゼ症候群について正しいのはどれか。2 つ選べ。

- A, 5 歳までに好発する
- B, 組織病型は巣状分節状糸球体硬化症が多い
- c, 第一選択薬は副腎皮質ステロイドである
- d, 約 9 割が再発する。
- E, 成人まで持ち越す。

(A65)(108A48)

75 歳の女性。左手関節部の腫脹と疼痛を主訴に来院した。歩行中につまずき左手をついて転倒したとのことである。手関節部以外に外傷はなく、他に治療中の疾患はない。手関節部から手指まで高度の腫脹を認めた。来院時の X 線写真にて骨折を認めた。伝達麻酔下に徒手整復し手関節屈曲尺屈位で良好な整復位が得られ、その位置で肘上から手指までのギプス固定を行った。消炎鎮痛薬を処方し帰宅させたが、6 時間後に手指の腫脹が進行し指尖が暗紫色となり消炎鎮痛薬が無効な強い疼痛を訴えて受診した。

対応として最も適切なのはどれか。

- a 患肢挙上
- b ギプス除去
- c オピオイド投与
- d ウロキナーゼ投与
- e 星状神経節ブロック



(A60 台)

男性、以前うつ病と診断されて抗うつ薬を服用していた。最近怒りっぽくなり、高額の買い物をするようになった。初期治療は？

- a 抗うつ薬
- b 抗不安薬
- c 抗精神病薬
- d 気分安定薬
- e 精神科リハビリテーション

(A69)

26歳の初産婦。22週に自然破水して以降、子宮収縮抑制薬にて35週まで羊水の流出を伴いながら問題なく経過してきた。

その後の合併症として考えられるものを2つ選べ。

- a.胸水
- b.肺低形成
- c.肺出血
- d.肺分画症
- e.内反足

(A71)

主訴 呼労作時呼吸困難。dip and plateau の図をみて。

間違っているものを選べ

- a kussmaul 徴候
- b I 音亢進
- c 心膜切除術
- d 心筋の拡張不全
- e 利尿薬

(A72)

特発性血小板減少性紫斑病に対して適応とならない治療はどれか。

- a 脾摘出術
- b ピロリ菌除菌
- c プレドニゾロン
- d 抗胸腺細胞グロブリン
- e トロンボポエチン受容体作動薬

(A73) 108H28 の改変

45 歳、女性。脳出血後のリハビリテーションのため入院中である。脳出血にて 2 週間入院し、2 ヶ月前に回復期リハビリテーション病棟に転院した。脳出血の発症前には、共働きで会社勤めの夫と持ち家に 2 人暮らしであった。右方麻痺と言語障害とを認める。会話の理解は良好で、状況判断も適切であるが、発話は困難である。T 字杖と短下肢装具とを用いた平地歩行が可能であり、階段昇降と入浴には介助を要する。自宅内に段差が多く、トイレは和式である。

退院に向けた対応は何か。

- a. 家屋改造を指導する。
- b. 介護保険の申請を勧める。
- c. 自立支援医療を行う
- d. 夫の会社退職
- e. 電動車椅子の準備

(A76) 42 歳男性。7 日前から心窩部痛を訴えている。黒色便を認める。上部消化管内視鏡の画像を別に示す。※画像はおそらくオリジナルで再現できないため概要のみ

「上部消化管内視鏡の画像で消化管壁から噴出性の出血がある」

処置につかうのはどれか。2 つ選べ

- a ヨード
- b クリップ
- c 純エタノール
- d シアノアクリレート
- e SB チューブ

(A77)

アルコール性肝障害でみられないのはどれか。

- a. 肝線維化
- b. 血清 γ -GTP 高値
- c. 肝組織好中球浸潤
- d. 血清 AST/ALT 比 < 1
- e. 肝腎コントラスト増強

(A78)

72歳の女性。前頸部腫瘍を主訴に来院した。40歳代から甲状腺腫を指摘されていたが特に治療は受けていなかった。2週前から前頸部腫瘍が急に増大してきた。身長158cm、体温36.2℃。脈拍80/分、整。血圧138/64mmHg。前頸部に横径約9cmのびまん性の甲状腺腫を触れる。甲状腺腫は硬く、表面に凹凸がある。甲状腺に圧痛は認めない。頸部皮膚に発赤を認めない。右側頸部に径1cmのリンパ節を2つ触知する。血液所見：赤血球380万、Hb11.8g/dL、Ht38%、白血球5,600、血小板18万。血液生化学所見：TSH18.5μU/mL(基準0.2~4.0)、FT₃2.5pg/mL(基準2.5~4.5)、FT₄0.7ng/dL(基準0.8~2.2)。免疫学所見：抗サイログロブリン(TG)抗体18.8U/mL(基準0.3以下)、抗甲状腺ペルオキシダーゼ(TPO)抗体45U/mL(基準0.3以下)。甲状腺超音波検査で右葉下部に著明な低エコー域を認める。

考えられるのはどれか。2つ選べ。

- A,亜急性甲状腺炎
- B,慢性甲状腺炎
- C,無痛性甲状腺炎
- D,甲状腺濾胞癌
- E,甲状腺悪性リンパ腫

(A79)

急速進行性糸球体腎炎を呈した患者の腎生検のPAS染色標本と蛍光抗体IgG染色標本とを示す。最も考えられるのはどれか。(108I-24)

- a.ANCA関連血管炎
- b.IgG4関連疾患
- c.急性間質性腎炎
- d.血栓性血小板減少性紫斑病
- e.全身性エリテマトーデス<SLE>

(A80) [108H29]

70歳の男性。腹膜炎の手術後で入院中である。2週前にS状結腸憩室の穿孔による急性汎発性腹膜炎にて緊急手術を施行された。手術術式はS状結腸切除術・人工肛門造設術であった。術後の経過は良好で、術後7日目に流動食を開始し、術後8日目にはドレーンの排液の性状に問題がなかったためドレーンは抜去した。現在は中心静脈栄養を併用しながら5分粥食を全量摂取している。術後4日目以降発熱を認めなかったが、昨夜急に悪寒戦慄を伴う39℃の発熱があった。他に症状はなく食欲も保たれている。対応として適切なのはどれか。

- a 絶飲食
- b 便培養検査
- c 緊急開腹手術
- d ドレーン再挿入
- e 中心静脈カテーテル抜去

(A82)

21 ヒドロキシラーゼ欠損の先天性副腎皮質過形成で高値になるものを 2 つ選べ。

- a)ACTH
- b)ナトリウム
- c)コルチゾール
- d)アルドステロン
- e)17 α ヒドロキシラーゼ

(A85)

25 歳女性。最近、前頭部頭痛と左目の見にくさを自覚した。無月経と乳汁漏出もある。血清 PRL 256(正常 15 以下)で、下垂体に腫瘍病変が見られる。

この疾患に対する治療は何か。

- 1.
- 2.Hardy 手術
- 3.ドパミン作動薬
- 4.バソプレッシン
- 5.ソマトスタチン

2015 年 卒業試験 再現問題 Bブロック

(B1)

運動療法の適応がないのはどれか。

- 1 高齢者
- 2 重症大動脈狭窄症
- 3 閉塞性動脈硬化症
- 4 埋め込み型ペースメーカー装着患者
- 5 埋め込み型除細動器装着患者

(B2)

34 歳の男性。6 年前から胃の具合が悪く胃腸薬を服用していた。夕食 2 時間後、突然、激しい上腹部痛を訴え、救急車で来院した。赤血球 408 万、白血球 13,500。尿所見正常。腹部 X 線単純写真を次に示す。

a ERCP

b 上部消化管バリウム造影

c 造影 CT

d 上部内視鏡検査

e 下部内視鏡検査

(B3)

糖尿病の慢性合併症でないのはどれか(107A6)

- a 足趾壊疽
- b 尋常性痤瘡
- c Charcot 関節
- d 浮腫性硬化症
- e Dupuytren 拘縮

(B-4) (107D-22)

32 歳の男性。不眠を主訴に来院した。消防隊員として大規模災害の支援に災害発生の翌日から派遣され、厳しい状況下で 2 週間救助活動を行った。その後元の職場に戻り、しばらくは問題なく過ごし、むしろ以前よりも真剣に仕事をこなしていた。しかし救助活動から戻った約 2 か月後から何度も夜中に覚醒するようになり、いらいらして集中力も落ちてきたため産業医に相談し受診した。特記すべき既往歴はない。仕事への意欲はあり、疲労感の増大はみられない。

診断のために重要な質問はどれか。

- a. 「嫌な情景が急に浮かんでくることがありますか」
- b. 「家族につらい症状を話すと少しは楽になりますか」
- c. 「今晚も眠れないのではないかと不安になりますか」
- d. 「ひどく気持ちが落ち込んで、それが何日も続いていますか」
- e. 「以前は楽しかったことを楽しめなくなったように感じますか」

(B5) (107D5)

子宮内膜症にみられないのはどれか。

- a. 不妊
- b. 排便痛
- c. 希発月経
- d. 月経困難症
- e. 卵巣チョコレート嚢胞

(B6)

過敏性腸症候群について誤りを選べ。

- a. 東南アジアでの有病率が高い。
- b. 男性より女性の有病率が高い。
- c. 先進国での有病率は 10~15%である。
- d. 中高年者より若年者の有病率が高い。
- e. 地方居住者より都市居住者の有病率が高い。

(B7)

8 か月男児。最近笑わなくなったことを心配して両親に連れてこられた。首をうなずくと同時に両手を挙げる動作をする。

- a. West 症候群
- b. Sturge Weber
- c. Werdnig~
- d. Lennox Gastau 症候群
- e. Duchenne 型筋ジストロフィー

(B10)

骨年齢が遅延するのはどれか2つえらべ

- a turner 症候群
- b 甲状腺機能低下症
- c Prader-Willi 症候群
- d 偽性副甲状腺機能低下症
- e 成長ホルモン分泌不全低身長

(B11)

35 歳女性、半年前から右半身の感覚低下があったが 2 週間ほどで軽快した。1 週間前から右半身の感覚低下が再発。2 日前から構音障害、注視方向性眼振、回転性めまい、ふらつきが生じた。神経学的所見は四肢腱反射低下、左上下肢の脱力、C3 以下の感覚低下、左指鼻試験稚拙をみとめた。この疾患の原因病変部位を 2 つ選べ。

- a 筋肉
- b 脳幹
- c 脊髄
- d 末梢神経
- e 神経筋接合部

(B12)

慢性肝炎をきたすウイルスはどれか。2 つ選べ。

- a.A 型
- b.B 型
- c.C 型
- d.D 型
- e.E 型

(B15)

清潔操作が必要でないものは？

- a,腰椎穿刺
- b,皮膚切開
- c,除細動器
- d,胸腔ドレナージ
- e,中心静脈穿刺

(B17)(103F5)

自発呼吸あり意識混濁を伴うショック状態の人につけるトリアージの色は？

- a 緑
- b 黄
- c 赤
- d 黒
- e 白

(B21)

眼圧普通、糖尿病性網膜症の眼底写真、確定診断のための検査はどれか。2つ。

- a.超音波
- b.OCT
- c.眼底造影
- d.MRI
- e.視野検査

(B22)(108I13)

思春期から若年成人に好発するのはどれか

- a.顕微鏡的多発血管炎
- b.高安動脈炎〈大動脈炎症候群〉
- c.巨細胞性動脈炎〈側頭動脈炎〉
- d.アレルギー性肉芽腫性血管炎〈Churg-Strauss 症候群〉
- e.Schonlein-Henoch 症候群

(B24) (102G41)

1歳の男児。湿疹を主訴に来院した。生後6か月ころから湿疹を認め治療していたが軽快しなかった。皮膚の掻

爬によってしばしば膿痂疹を形成した。身長 68cm(−1.5SD)、体重 7.1kg(−2.0SD)。体温 37.0℃。脈拍

96/分、整。全身に湿疹を認める。右肋骨弓下に肝を 1cm 触知する。血液所見：赤血球 370 万、Hb 9.8g/dl、

Ht 30%、白血球 13000(桿状核好中球 5%、分葉核好中球 30%、好酸球 10%、単球 2%、リンパ球 53%)、

血小板 2.1 万。血液生化学所見：IgG 1260mg/dl(基準 460~1220)、IgA 200mg/dl(基準 16~128)、

IgM 10mg/dl(基準 57~260)。CRP 2.1mg/dl。

この疾患と遺伝様式が同じなのはどれか。2つ選べ。

- a Duchenne 型進行性筋ジストロフィー
- b Huntington 舞踏病
- c 結節性硬化症
- d 血友病 A
- e フェニルケトン尿症

(B27)

この症例の治療について

A

B EGFR 遺伝子の検索

C 病期に関わらず、手術しない

D

E 化学療法と放射線療法が効かない？

(B28)

正常圧水頭症の症候として正しいものを2つ選べ。

a,頻尿

b,失語症

c,四肢腱反射低下

d,開脚小刻み歩行

e,垂直性眼球運動障害

(B29)(106I54)

61 歳の女性。嚥下困難を主訴に来院した。5 日前から水を飲み込みにくい感じがあり、徐々に増悪してきた。嚥下困難の原因検索のため入院となった。血液検査、上部消化管内視鏡検査、頸部 CT 及び胸部 CT に異常を認めなかった。入院後 4 日、患者は口を開けられないと訴えた。身体診察で胸鎖乳突筋の筋緊張亢進を認める。考えられるのはどれか。

a 破傷風

b 多発性筋炎

c 重症筋無力症

d 多発性硬化症

e Guillain-Barré 症候群

(B33) (103D37)

17 歳の女子。下痢と肛門部痛とを主訴に来院した。6 ヶ月前から 37℃前後の発熱と軟便とを認めた。2 週前から 6, 7 回/日の下痢を認めた。体温 37.6℃。肛門周囲に瘻孔と腫脹とを認める。血液所見：赤血球 310 万, Hb 9.1g/dL, 白血球 9,800. CRP 6.8mg/dL. 小腸造影写真を次に示す。この疾患の下部消化管内視鏡検査で見られるのはどれか。2 つ選べ。

1 敷石像

2 偽膜形成

3 輪状潰瘍

4 非連続性病変

5 血管透見像消失

(B35) 17 歳時に SLE を発症した女性 副腎ステロイド投与で一旦寛解。

24 歳時には腎症を合併し再度入院予定。

今後の治療などについて女性の婚約者も同席して話し合い。

病室にいなかったため探したところ 外来で泣いているところを発見。

患者の心情を考慮した上で適切な声かけは

- a 必ず治すと約束する
- b (失念)
- c 泣いていてはいけないと強く励ます
- d 患者の思いに共感的な姿勢を示す
- e 否定的な言葉は逐一否定する

(B36) 骨格筋の筋繊維について正しいものを 3 つ選べ

- a 腓腹筋の方が、ヒラメ筋に比べ β 酸化活性が強い
- b 腓腹筋よりも、ヒラメ筋の方が速筋繊維の割合が大きい
- c 遅筋繊維の方が、速筋繊維よりもミトコンドリアの数が多い
- d 腓腹筋もヒラメ筋も、損傷すると血中の CK や LD が上昇する
- e 速筋遅筋どちらにおいても、インスリンに反応すると筋膜の GLUT4 が増える

(B40) 生物濃縮を受けやすいものはどれか

- a.ベンゼン
- b.パラコート
- c.ダイオキシン類
- d.ホルムアルデヒド
- e.トリクロロエチレン

(B41)(103I61)

29 歳の男性。意識障害、頭痛及び発熱のため搬入された。4 日前から発熱頭痛および嘔吐が出現した。翌日頭が割れるように痛いと訴え、他院を受診した。体温 39.6 度、項部硬直はなく、頭部 CT で異常は指摘されなかった。セフェム系抗菌薬が投与されたが発熱と頭痛が持続し、意識障害が出現した。搬入時意識レベルは JCSⅢ-300。瞳孔はピンポイントである。項部硬直を認める。血液所見：赤血球 500 万、Hb14.6g/dl、Ht 45%、白血球 17,900、血小板 29 万。CRP7.9mg/dl、髄液は外見が白色、細胞数 1,792(単核球：多核球=332:1460)/ μ l(基準 0~2)、糖 15mg/dl(基準 50~75)頭部単純 MRI の T1 強調像、T2 強調像および造影 T1 強調像を別に示す。

(画像提示あり。3枚)考えられるのはどれか。

- a 脳膿瘍
- b ヘルペス脳炎
- c 悪性リンパ腫
- d 転移性脳腫瘍
- e 多発性硬化症

(B45)

歯が痛い既往があり心雑音聴取
IE の診断で Roth 斑を選ぶ問題

(B48)

原発性副甲状腺機能亢進症に対する検査を2つ選べ

- a PTH
- b cAMP
- c TcMIBI シンチ
- d ACE
- e ?

(B49)(103-A24)

63 歳男性、労作時呼吸困難を主訴に来院した。7 月末から咳と呼吸困難とが出現するようになった。その後出張で約 1 ヶ月家を離れた。その間症状は消失した。自宅に戻ったところ咳と呼吸困難とが再度出現した。喫煙歴は無い。意識は清明。身長 163cm、体重 60kg、体温 37.8℃、脈拍 84bpm 整、血圧 132/78mmHg、心音に異常を認めない。呼吸時に fine crackles を聴取する。腹部、四肢および神経系に異常を認めない。血液所見：RBC439 万、Hb13.5g/dL、Ht 40%、WBC9000、血液生化学所見：そう蛋白 7.1g/dL、アルブミン 3.9g/dL、動脈血液ガス分析(room air): pH 7.43、PaO₂ 76Torr、PaCO₂ 37Torr、HCO₃⁻ 25mEq/L、胸部 CT(A)と経気管支生検組織の HE 染色標本(B)とを次に示す。画像もQB呼吸器に同じのあります。最も考えられるのはどれか。

- a 農夫肺
- b 鳥飼肺
- c 加湿器肺
- d 塗装工肺
- e 夏型過敏性肺炎

(B53)

感染症について正しいのはどれか

- 1.未知の感染症の発生をパンデミックという
- 2.生物兵器での感染症は大規模化しない
- 3.新興感染症は原因微生物の特定が必要不可欠である
- 4.アウトブレイクは十分な調査結果の解析のあとに対策をする
- 5.アウトブレイクとは、特定の期間、場所、地域に普通以上の感染症が発生することを言う

(B57)

脳卒中の計算問題。喫煙による脳卒中患者の増加数は何人か。ある地域の脳卒中患者数 300 人。喫煙率 50%。寄与危険度 2 倍

- a,50
- b,100
- c,150
- d,200
- e,300

(B58)(106I-58)

32 歳の女性。発熱と多関節炎とを主訴に来院した。3 年前から光線過敏に気づいていた。1 年前の冬に Raynaud 現象が出現した。6 か月前から時々、両側の手関節の関節痛を自覚していた。3 か月前から多数の関節に腫脹と疼痛とがみられ、持続するようになったため受信した。体温 38.6℃。脈拍 92/分、整。血圧 110/60 mmHg。頸部に可動性のあるリンパ節腫瘍を認める。両側の手関節、第 2-4 指の近位指節間関節および中手指節間関節に腫脹と圧痛とを認める。赤沈 50mm / 1 時間。血液所見：赤血球 310 万、Hb 11.0 g/dl、Ht 33 %、白血球 3300、血小板 10 万。血液生化学所見：AST 35 IU/l、ALT 40 IU/l、LD 370 IU/l (基準 176-353)。CRP 1.5 mg/dl。この疾患の診断に最も感度の高い検査はどれか。

- a 抗核抗体
- b 抗 Sm 抗体
- c 抗 RNP 抗体
- d 抗 dsDNA 抗体
- e 抗リン脂質抗体

(B60)

コホート研究で正しいもの

- a 相対危険度は計算できない
- b 稀な疾患に適している
- c 介入群と非介入群に分ける
- d 過去から現在までの追跡は含めない
- e 要因の有無によって 2 群に分けて追跡する

(B65)

(非)ホジキンリンパ腫の予後不良因子で過っているものはどれか

- a stage
- b 年齢
- c,
- d,
- e,

(B67) (106I8)

高血圧症の若年女性の右腎動脈造影写真を次に示す。左腎動脈造影写真には異常を認めない。この疾患に関する説明で正しいのはどれか。

- a 高カリウム血症を認める。
- b 粥状硬化症を原因として発症する。
- c 治療として経皮経管血管形成術を行う。
- d 成人の二次性高血圧症の原因疾患として最も多い。
- e アンジオテンシン変換酵素阻害薬の投与は禁忌である。

(B69)

44 歳女性。昨夜から腹痛と嘔気を訴えた。上部消化管内視鏡像を示す。(アニサキス疑い)

- a.H.pylori の除菌が有効である
- b.腹痛にアレルギーが関与している
- c.胃内に数年間とどまることもある
- d.イカやサバの生食に注意すべきである
- e.内視鏡による摘出は頭部が残ってしまうため禁忌である

(B71)

12 歳女性、生後 2 ヶ月から I 型糖尿病体調が悪く朝食を食べなかったので、インスリンをうたなかった。午後からお腹が痛くなり受診。血糖値 500、尿糖 3+、血中ケトン二万、PH7.2。治療法を二つ選べ。

- a 生理食塩水静注
- b インスリン持続静注
- c インスリン皮下注
- d ブドウ糖を含んだ輸液
- e 重炭酸ナトリウム静注

(B72)

55 歳女性、下腹部膨隆としこりを主訴に来院した。経膈超音波とMR I で両側卵巣に充実性の腫瘍と少量の腹水を認める。血液検査では CA125 65.9(基準 35 以下)、CA19-9 21.7(基準 37 以下)、CEA 17.5(基準 5 以下) HE 染色の結果を以下に示す。

考えられる疾患はどれか。

- A 顆粒膜細胞腫
- B 類内膜腺癌
- C 粘液性腺癌
- D 明細胞腺癌
- E Kruckenberg 腫瘍

(B73)

EBウイルスについて正しいものはどれか。

- a. カポジ肉腫の原因となる。
- b. パルボウイルス属である。
- c. B細胞と上皮細胞に感染する。
- d. 我が国では思春期以降の感染が多い。
- e. オセルタミフルで増殖を防ぐことができる。

(B76)

65歳の男性。総胆管結石の加療目的で入院中である。入院翌日に内視鏡的結石除去術を施行した。終了3時間後から持続性の心窩部痛と背部痛を訴えた。体温 35.8℃。脈拍 100/分、整。血圧 84/56 mmHg。呼吸数 20/分。SpO2 93%(room air)。顔面は蒼白である。腹部は平坦で、心窩部に圧痛と筋性防御とを認める。血液所見: 赤血球 422 万、Hb 14.3 g/dl、Ht 43%、白血球 10,100(桿状核好中球 7%、分葉核好中球 66%、単球 3%、リンパ球 24%)、血小板 26 万、PT 94%(基準 80~120)。血液生化学所見: 総ビリルビン 1.2 mg/dl、AST 20 IU/l、ALT 19 IU/l、LD 151 IU/l(基準 176~353)、ALP 246 IU/l(基準 115~359)、γ-GTP 22 IU/l(基準 8~50)、アミラーゼ 1,495 IU/l(基準 37~160)、クレアチニン 1.0 mg/dl。CRP 0.1 mg/dl。腹部造影 CT(別冊 No. 30)を別に示す。

次に行うべき治療として適切なものはどれか。(108175 と同一問題)

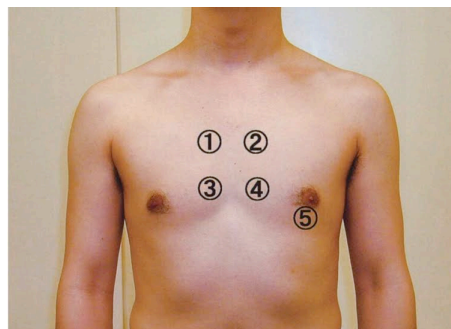
- a 血漿交換
- b 大量輸液
- c 緊急開腹手術
- d 胆道ドレナージ
- e 副腎皮質ステロイドのパルス療法

(B77).

心音の聴取部位の写真を次に示す。

大動脈弁領域はどれか。

- a. ①
- b. ②
- c. ③
- d. ④
- e. ⑤



(B78)

56 歳男性。突然の背部痛を主訴に来院した。右半身の脱力も伴っている。意識レベルは JCS II-10、心拍数は 90bpm、血圧は右上肢で 89/40mmHg、左上肢で 154/78mmHg。血液検査では腎機能に異常は見られなかった。頭部単純 CT では明らかな異常は見られなかった。

最初に行う検査は何か。

- a 脳波検査
- b 脳血流 spect
- c 胸腹部造影 CT 検査
- d 頭部単純 MRI
- e 腹部超音波検査

(B79)

3 歳児において発達が遅れていると判定される項目はどれか。(105G-18)

- a.鼻をかめない。
- b.二語文を話さない。
- c.ボタンをはめられない
- d.遊びの順番を待てない。
- e.でんぐり返しができない。

(B80) [103I7]

成人 T 細胞白血病で正しいのはどれか。2 つ選べ。

- a 液性免疫能が低下する。
- b 抗 HIV 抗体陽性である。
- c 化学療法への反応は良好である
- d T 細胞受容体遺伝子の再構成を認める。
- e 臨床経過は慢性から急性まで多様である。

(B82)

Hirschsprung 病について正しいものを選べ。

- a)拡張腸管が病変部
- b)直腸肛門反射がみられる
- c)家族内発生例が多くを占める
- d)病変部が肛門側から連続している
- e)病変腸管の神経節細胞数は正常である

(B85) (104179)

63 歳の男性。意識障害のため搬入された。10 年前から下腿浮腫を認める。意識は混濁。腹部造影 CT を次に示す。意識障害の原因として最も考えられるのはどれか。

- a 高血糖
- b 高カリウム血症
- c 高アミラーゼ血症
- d 高アンモニア血症
- e 高カルシウム血症
- f 高ナトリウム血症
- g 高ビリルビン血症

2015 年卒業試験 再現問題 C ブロック

(C1-3)

浮腫について最も考えられるものをえらべ。

- ① 40 歳男性 下肢に浮腫を生じた。浮腫は圧痕を残す。血清アルブミン 2.8g/dl 血清総コレステロール 280mg/dl 尿タンパク3+ 尿潜血－
- ② アスピリンを飲んで呼吸困難になった。
- ③ 60 才女性。口唇と眼瞼の浮腫を主訴に来院した。診察の結果、意欲低下、記憶力の低下が見られ、寒がりになり、便秘が続いており、体重が増加していることがわかった。四肢に浮腫が見られるが圧痕は認めない。また、皮膚の乾燥が見られた。

- a 心不全
- b 血管性浮腫
- c リンパ性浮腫
- d 甲状腺機能低下症
- e ネフローゼ症候群
- f 原発性アルドステロン症

(C4-6)

- ① 高齢者の呼吸困難、発熱。X 線で右下葉に浸潤影。
- ②
- ③ 50 歳男性、発熱・倦怠感・食思不振を訴える。歯痛を放置していた。収縮期心雑音を認める。

- H インフルエンザ
- I 感染性心内膜炎
- J マイコプラズマ肺炎
- ・細菌性肺炎

(C7-9)

- ① 30 歳女性。2 週間前から動悸と息切れを自覚して受診。2 か月前から、日差しの下で皮膚が赤く水泡が生じた。白血球 2500 尿たんぱく (3+)
- ② 18 才男児 1 週間前から発熱、咽頭痛、鼻汁があり、2 日前から胸痛が出現した。心電図で広範な ST 上昇をみとめ、CK,CK-MB は正常
- ③ 3 日前から発熱、胸痛を訴えている。階段昇降時に胸痛と息苦しさを感、椅子に座ったところ 2 時間程度で軽快した。心電図にて異常 Q 波を認める。

- a.Dressler 症候群
- b.SLE
- c.細菌感染
- d.結核感染
- e.悪性リンパ腫
- f.ウイルス感染

(C10-12)

次に測るべき検査項目は？

① 60 歳男性。20 年間、糖尿病の治療を行っている。

BUN:40mg/dl、Cr:2.2mg/dl、Hb:9.0g/dl、MCV:90fl

②50 歳女性 食欲不振 活動性の低下。HR 50 ,Tchol 280 ,MCV 90

③貧血が主訴。次にするべき検査はどれか。20 歳(ぐらい)女性。WBC1500、Plt2 万。

a freeT3

b Vit.B12

c 葉酸

d 骨髓穿刺

e ヘモグロビン分画

f TIBC

g 血清鉄

h, エリスロポエチン

(C13-15)

① 17 オの男。オープンキャンパスで手術のデモ講義を見ていたら気分が悪くなり、吐き気、腹痛を感じたためトイレに行ったが、途中で失神。数分で意識回復したが、脈は微弱で顔面蒼白。

② 反復する回転性めまい、感音性難聴。

③

a.,メニエール

b,Bell 麻痺

c,血管迷走神経反射

d,洞性徐脈

e,Ramsey Hunt 症候群

f,起立性低血圧

g,椎骨脳底動脈循環不全

h,良性発作性頭位めまい症

(C16-18)

- ① .58 歳男性。高血圧と糖尿病の治療を受けている。突然発語が不明瞭になり、右顔面の麻痺と感覚低下、右半身麻痺を生じた。搬送後の診察で Babinski 反射陽性である。
- ② 25 歳男性、痙攣発作後に右片麻痺が出現。症状は 2 時間で消えた。
- ③ アルコール多飲。外眼筋麻痺、失調、意識障害。

- a.Bell 麻痺
- b.TIA
- c.Todd 麻痺
- d.VitB1 欠乏症
- e.VitB6 欠乏症
- f.VitB12 欠乏症
- g.脳梗塞
- h.重症筋無力症
- i.多発性硬化症
- j.糖尿病性神経障害

(C19-21)

- ① 中年男性、飲み会でアルコール多飲。心窩部～背部痛。
- ② 68 歳男性。夜間、突然、激しい腹痛が出現しすぐに来院した。夕食で飲酒をしていない。夕食で魚介類を食べていない。検診で不整脈を指摘されたことがあるが自覚症状はない。血圧 150/100、心拍数 100、体温 38.4。
- ③ 若年者で心窩部痛から右下腹部に限局する持続性疼痛。

- a, 急性肝炎
- b, 急性膵炎
- c, 急性虫垂炎
- d, アニサキス症
- e, 急性胆嚢炎
- f, 偽膜性腸炎
- g, 潰瘍性大腸炎
- h, 虚血性腸炎
- l, 腹部大動脈瘤解離
- j 上腸間膜動脈閉塞

(C22-24)

- ① 40 歳女性。右母指、示指、中指に限局したしびれ・灼熱感を訴える。しびれは夜間に増強する。軽く手を振ると軽減する。事務職でよく右手を使う。身体所見で右母指球筋の萎縮と患指に知覚低下を認める。

Spurling test 陰性である。→正中神経麻痺

②

③

(C25-27)

- ① 若年者の粘血便。痔ろうはない。

- ② 小児の男児。突然の大量の赤褐色便で母親が慌てて連れてくる。腹部所見、機嫌、発熱など含めて、異常所見はなし

- ③ 鶏肉食べた 5 日後に血まじりの便で、だんだん血そのものようになった。父親は下痢が続いている。

a.潰瘍性大腸炎

b.クローン病

c.メッケル憩室

d.腸重積

e.サルモネラ

f.腸管出血性大腸菌

(C28-30)

- ① X 線で石灰化を認める膝関節の写真。

- ② リウマチ性多発筋痛症の病歴。

- ③ 70 歳男性。悪寒戦慄、嘔気、背部の重苦感。直腸癌の手術の既往があり、神経因性膀胱で自己導尿している。もっとも考えられる疾患はどれか。

a, SLE

b, 関節リウマチ

c, 膀胱炎

d, 腎盂腎炎

e, 悪性リンパ腫

f, 無菌性髄膜炎

g, リウマチ性多発筋痛症

h.偽痛風

i.痛風

(C31-33)

①

- ② 18 歳男性、オープンキャンパスで手術のビデオ見ていたところめまいが生じた。

③

(C34-36)

①

② 30 歳の男性。一ヶ月前から続く心窩部痛を主訴に来院。ここ 1 週間で増悪。痛みは朝方に増悪し、摂食で軽減する。ここ 3 ヶ月間、仕事のストレスが多く、残業や休日出勤もこなしていた。

③ 160cm 80kg 運動療法としてランニング中、胸が痛くなった。冷や汗も出てきた。BP 100/66, HR 122 bpm

(C37-39)

①

② 63 歳男性、右不全麻痺、完全失語、右同名半盲

③

(C40-42)

① 40 歳男性。工場爆破で広範囲に高度の熱傷。全身に浮腫とチアノーゼを認める。気管挿管は不可能。

② 25 歳男性。てんかん重積状態の患者。血糖値に異常なし。次に行うべき検査は？

③ 胸刺されて血圧低下。頻脈。

a.気管切開

b.輪状甲状間膜切開

c.ジアゼパム経口投与

d.輸液＋ジアゼパム

e.心嚢穿刺

(C43-45)

① 夜間や早朝に一過性の共通。発作時に ST 上昇する。

②

④ SLE の患者。流産後長期安静後の突然の胸痛

a.異型狭心症

b.肺血栓塞栓症

(C46-48)

血ガスの組成は？

① 妊婦 自然流産後安静にしていたら突然の呼吸困難

②呼吸困難が増悪し、救急搬送された。レントゲンで肺過膨張と右下肺野の浸潤影を認める。咳と膿性の痰を伴う。

③S 状結腸切除術後頻回の下痢。

(C49-51)

①

②

③ 18 歳男性、38 度の発熱と痰のない咳がある。同級生も同じような咳をしているという。聴診で副雑音なし。
レントゲンで両側下肺野にすりガラス影を認める。

(C52-54)

① 解熱後に発疹がでた子供。機嫌は悪くない。

② 5 歳 8 ヶ月

発熱と同時に顔から全身に広がる発疹

現症:表面のザラザラした細かい紅斑が全身に広がる。耳介後部リンパ節を触知する

③ 2 歳 6 カ月の男児。発熱と発疹を主訴に来院。鳥肌がたったような発疹で母親はアレルギーではないかと心配している。舌は発赤しており、口腔内は発赤し白苔を認める。

1.麻疹

2.水痘

3.風疹

4.川崎病

5.伝染性紅斑

6.突発性発疹

7.溶連菌感染症

8.細菌性髄膜炎

9.手足口病

10.アナフィラクトイド紫班

(C55-57)

① 26 歳女性 体重増加、月経異常、多毛 血圧 150/?

② 若年女性、悪性高血圧。高血圧発作に対して不安がある。

③ 40 歳女性 最近顔貌の変化、声が低くなってきた。両手の知覚の低下、皮膚肥厚、舌が大きくなってきた、
近位筋の低下も認める。

a, Addison

b, Cushing

c, SIADH

d, 尿崩症

e, 褐色細胞腫

f, 先端肥大症

g, 甲状腺機能低下?

h, 高プロラクチン

i, 副甲状腺機能亢進症状

j, 副甲状腺機能低下症

(C58-60)

黄疸を主訴に来院した患者で最も考えられる診断を選ぶ。

- ① 24 歳、男性。全身倦怠感、黄疸(もう一つありましたが忘れました)を訴え受診。褐色尿、白色調便も認められる。東南アジア旅行から 3 週間前に帰国した。肝臓と脾臓が肥大している。頸部リンパ節に圧痛がある。
- ② 成人で、ストレスがかかると黄疸が出る。間接ビリルビン優位。
- ③ 35 歳男。潰瘍性大腸炎を罹患している。黄疸、掻痒感、腹痛を訴える。ALP 上昇。抗ミトコンドリア抗体陰性。

a,A 型肝炎

b,B 型肝炎

c,Gilbert 症候群

d,Dubin-Johnson 症候群

e,Rotor 症候群

f,溶血性貧血

g,原発性胆汁性肝硬変

h,原発性硬化性胆管炎

i,自己免疫性肝炎

2015 卒業試験 再現問題 D ブロック

(D1) 急性期心筋梗塞の MRI による診断の際に有用なのはどれか。

- 1 T1
- 2 T2
- 3 T2*
- 4 拡散強調
- 5 磁場強調

(D2) 45 歳の男性。会社の健康診断で初めて尿糖陽性を指摘され来院した。身長 175cm，体重 90kg。血圧 144/86mmHg。尿所見：蛋白（－），糖 2＋。血液生化学所見：随時血糖 280mg/dL，HbA1c（NGSP）7.9%（基準 4.6～6.2），総コレステロール 230mg/dL。トリグリセリド 165mg/dL。まず行うのはどれか。

2 つ選べ。

- a, 運動療法
- b, 食事療法
- c, インスリン投与
- d, 高脂血症治療薬投与
- e, 経口血糖降下薬投与

(D3)

正しいのはどれか。2 つ選べ。（102G6）

- a, 両価性はうつ病に特徴的である
- b, 言葉のサラダは思路障害で見られる
- c, 緊張病症状候群は不安障害で見られる
- d, korsakoff 症候群では作話がみられる
- e, 感情失禁は統合失調症に特徴的である

(D6)

38 歳男性、有機溶剤を扱う工場勤務。めまい、気分不快を主訴に来院。工場の作業環境測定で第 2 管理区分（改善のために対策を講じる必要あり）であった。有機溶剤は発がん性のある気道感作性物質であることが確認された。作業場には壁の高い位置に換気扇が 2 つあったが、局所排気装置は設置されていなかった。患者は作業着と防塵マスクを着用し、有機溶剤の染みこんだ布を素手で持ち製品を磨いていた。

まず講じるべき対策はどれか。

- a. 換気扇の位置を変える。
- b. 局所排気装置を設置する。
- c. 手袋の着用を指導する。
- d. 防塵マスクを防毒マスクに変更する。
- e. 有機溶剤を安全な代替品に変更する。

(D7)

17 歳男性。2 か月前に野球ボールを左眼部にあたり、複視が消失しないため来院。上方視したときの写真。障害されたと考えられる筋はどれか？

- a.上直筋
- b.下直筋
- c.内直筋
- d.外直筋
- e.上眼瞼挙筋

(D8)

パーキンソン病の治療薬を二つ選べ

- a,ドパミン
- b,ドパミン受容体遮断薬
- c,ドパ脱炭酸酵素阻害薬
- d,アセチルコリン分解酵素阻害薬
- e,モノアミンオキシダーゼ B 阻害薬

(D10) (106D30)

29 歳男性。排尿時痛を主訴に来院した。14 日前に性行為感染症の機会があった。2 日前から排尿時痛と漿液性の尿道分泌物とを自覚するようになったため受診した。外尿道口周囲に発赤を認めない。触診で陰嚢部に異常を認めない。直腸指診で前立腺に異常を認めない。尿所見:蛋白 1+、糖(-)、潜血(-)、沈渣に赤血球 1～5/1 視野、白血球 10～20/1 視野。尿道分泌物の Gram 染色で細菌を認めない。

この疾患の原因として考えられるのはどれか。

- a Chlamydia trachomatis
- b Herpes simplex virus
- c Human papillomavirus
- d Neisseria gonorrhoeae
- e Treponema pallidum

(D11)

在宅酸素療法をしている呼吸不全の患者について誤ってるもの 1 つ

- a なるべく階段をのぼらないようにする
- b なるべくお風呂に入らないようにする
- c 激しい動きをしないようにする
- d 髪を洗うときは右手で右側の髪、左手で左側の髪を洗うようにする
- e 服を着るときは肩よりも上に腕を上げないようにする

(D12) 50 歳男性。就寝中、特に明け方、冷や汗と吐き気を伴う左胸部痛を主訴に来院した。日中は症状なく、来院時の心電図は正常であった。発作時の心電図を示す。正しい処置を選べ。(心電図:Ⅱ,Ⅲ,aVf で ST 上昇)

- a.血栓溶解薬
- b.ジギタリス
- c.β 受容体作動薬
- d.プロカインアミド
- e.Ca 拮抗薬

(D16) 非小細胞肺癌の治療について 3 つ選べ

- a.標準術式は肺葉切除である
- b.Ⅰ期の標準術式は外科手術である
- c.思い出せません
- d.Ⅲ期に対して術後補助化学療法で予後がよくなる
- e.化学療法、化学放射線療法後に手術を行うことがある

(D17)(108D27)

63 歳女性。2 日前からの発熱、激痛のため救急搬送。検査の結果、大腸穿孔による腹膜炎と診断。緊急手術試行した。穿孔の原因はどれか？(摘出標本写真あり)

- a.大腸癌
- b.腸結核
- c.大腸憩室炎
- d.潰瘍性大腸炎
- e.大腸ポリポース

(D21)

適切な対応はどれか。2 つ選べ。

- a.止痢薬の投与
- b.メトロニダゾールの投与
- c.副腎皮質ステロイドの経口投与
- d.ニューキノロン系抗菌薬の中止
- e.他の広域スペクトル抗菌薬の投与

(D22) 「臨床研究に関する倫理指針」に基づいた臨床研究について誤っているのはどれか。

- a ヘルシンキ宣言に従う。
- b 個人情報の保護に配慮する。
- c 臨床研究機関の長の許可を受ける。
- d 社会的利益が被験者の福利より優先される。
- e 被験者の生命、健康、プライバシー及び尊厳を守る。

(D28) 胸部下部食道癌が直達的に浸潤しやすい部位として適切でないものはどれか。

- a, 胸管
- b, 心嚢
- c, 横隔膜
- d, 左主気管支
- e, 下行大動脈

(D32) この中で誤っているものは？

- a. β_2 刺激は気管支平滑筋を弛緩させる
- b. 血小板は α_2 受容体を持っている
- c. コリンエステラーゼ阻害薬は消化管の平滑筋を収縮させる
- d. α_1 の受容体阻害薬は膀胱活やく筋を弛緩させる
- e. β_2 刺激は肝臓のグリコーゲンの分解を抑制する

(D35)

x 才女性。左乳頭からの血性分泌を心配して来院。
視触診では左乳管からの単孔性の血性乳汁分泌を認める。
マンモグラフィと超音波で異常を認めない。
次に施行するものはどれか。2 つ選べ。

- a 乳管造影
- b CA15-3 測定
- c 分泌細胞診
- d 胸部造影 CT
- e マンモトーム生検

(D36)

腎癌について当てはまるもの 3 つ選べ

- a 腎細胞癌は検診などで偶然見つかる症例が増加してきた
- b 組織型としては、淡明細胞癌が最多
- c
- d 転移あればシスプラチン
- e 小さいものが部分摘出の適応となる

(D40) 53 才女性。二か月前から体のむくみ。一か月前に近医を受診したところ、大量の胸腹水を指摘された。今回の受診での血液検査・尿検査の結果は以下の通りであった。血小板7万、尿蛋白(3+)、尿潜血(1+)、抗核抗体 320 倍、抗 dsDNA 抗体 125UI/ml。

この疾患について誤っているものを以下のうちから1つ選べ。

- a.口唇生検は診断に必須である。
- b.低補体血症は疾患活動性の指標となる。
- c.糸球体にイムノグロブリンの沈着がみられる。
- d.wire loop lesion がみられる。
- e.疾患にともなううつ病には、ステロイドが第一選択薬となる。

(D41) 52 歳女性。子宮頸癌に対する広範子宮全摘術を 10 年前に施行。本日腹痛と嘔吐を主訴に来院した。（イレウス様の腹部単純 X-p 写真あり）

次に行うべき対応はどれか？二つ選べ。

- a, 胃管挿入
- b, 輸液
- c, 高圧浣腸
- d,
- e,

(D51) CT で総頸動脈を同定する

a 甲状腺、b 食道、c 総頸動脈、d 内頸静脈、e 筋肉
のスライス

(D53) 羊水塞栓について正しいもの

- 1.未破水例に多い
- 2.DIC を伴う
- 3.母体の予後は良好
- 4.腹部は板状硬を呈する
- 5.妊娠高血圧症候群に合併しやすい

(D57) 上位運動ニューロン徴候で正しいもの 3 つ

- a,筋萎縮
- b,偽性球麻痺
- c,腱反射亢進
- d,線維束性萎縮
- e,病的反射の出現

(D58)(106I-49)

74 歳の女性。右変形性股関節症に対する人工股関節置換術後で入院中である。手術後 2 週目の歩行訓練中に突然、胸部の不快感を自覚した。意識レベルは JCS II-10。脈拍 120/分、整。血圧 150/80 mmHg。呼吸数 24/分。SpO2 89% (room air)。呼吸音に異常を認めない。動脈血ガス分析 (自発呼吸、room air) : pH 7.50、PaCO2 32 Torr、PaO2 51 Torr、HCO3- 24 mEq/l。胸部エックス線写真に異常を認めない。

診断として最も考えられるのはどれか。

- a 狭心症
- b 院内肺炎
- c 急性心筋梗塞
- d 肺血栓塞栓症
- e 解離性大動脈瘤

(D60)

60 歳男性。肝障害を指摘された。

毎日 2 リットル以上飲んでる。家族に咎められて気にしてる。やめようとは思わない。朝から飲まない。CAGE スコア票の得点はどれか。

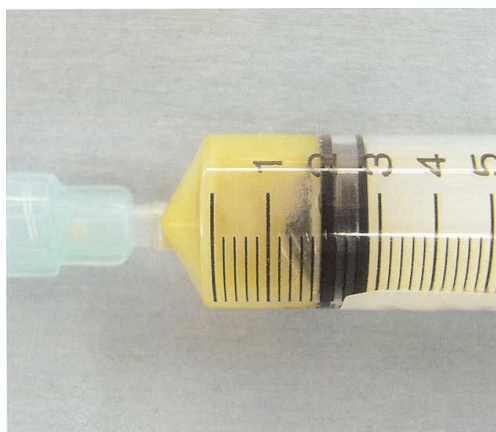
- a, 0 点
- b, 1 点
- c, 2 点
- d, 3 点
- e, 4 点

(D65)(106D3)

腰椎穿刺で得られた検体の写真を次に示す。

この疾患の治療に使用すべきなのはどれか。

- a 抗菌薬
- b 解熱鎮痛薬
- c 免疫抑制薬
- d 脳圧降下薬
- e 抗悪性腫瘍薬



(D69)

胆道閉鎖症によって欠乏するものはどれか。

- a. ビタミン A
- b. ビタミン B
- c. ビタミン C
- d. ビタミン D
- e. カタカナの変なやつ

(D71)

受傷直後の完全頸椎損傷で見られないもの

- a 頻脈
- b 血圧の低下
- c 排尿障害
- d 腱反射消失
- e 発汗消失

(D72)

66 歳男性の MRI 造影 T1 の所見から考えられるもの。

- a 咳嗽
- b 頭痛
- c 痙攣発作
- d 視野障害
- e 左片麻痺

(D73)

横紋筋融解症の際の尿所見として正しいものはどれか。

- a.顕微鏡的血尿
- b.ビリルビン尿
- c.ウロビリノ尿
- d.ヘモグロビン尿
- e.ミオグロビン尿

(D75)

うつ病を呈しやすいものは？ 2 つ選べ。

- a.pick 病
- b.脊髄ろう
- c.脳血管性認知症
- d.アルツハイマー病
- e.頸髄損傷？

(D76)

21 歳の男性。手指の震えを主訴に来院した。週に 3 日午前中、派遣先の大型塗料店で在庫管理の仕事をしている。4 日前、離島でダイビングをしている時、水深 21 m まで潜ってから浮上する途中で、潜水の履歴から浮上の必要性や手順を計算するダイビングコンピュータから浮上を停止するよう指示を受けた。その際、一旦浮上を停止した後インストラクターの指示に従い浮上した。2 日前もダイビングをした後、夕方ジェット旅客機に搭乗し帰宅した。帰路、天候が悪く機体の揺れのため席から離れることができなかった。就寝時、右中指の近位指節間関節が少し痛いのに気付いた。昨日も指先の感覚に違和感を覚えた。本日、字を書く時に指先が震えるため受診した。

最も考えられるのはどれか。(108A21 と同一問題)

- a 減圧症
- b 動揺病
- c 頸肩腕障害
- d 有機溶剤中毒
- e VDT 作業による障害

(D77)

前庭神経炎について正しいものはどれか。2 つ選べ。

- a.頭位変換眼振を認める。
- b.運動療法が有効である。
- c.低音障害型感音性難聴を伴う。
- d.めまいは数日から2ヶ月続く。
- e.末梢神経性めまいで最も多い。

(D80) [108D35]

28 歳の初妊婦。妊娠 34 週 0 日。妊婦健康診査で妊娠高血圧症候群と診断され入院中である。身長 160cm, 体重 62kg。体温 37.0℃。脈拍 72/分、整。血圧 154/106mmHg。尿所見：蛋白 3.5g/日、糖（－）。内診所見で子宮口は 1cm 開大、児頭下降度は SP-3cm で未破水である。腹部超音波検査で胎児推定体重は 1,980g（-1.5SD）で胎児形態異常は認めない。診察中に突然、強直性間代性けいれんを発症した。ジアゼパムの静注によって、けいれんは消失し意識も清明となった。帝王切開を決定しその準備を開始した。この時の胎児心拍数陣痛図を次に示す。

この時点で投与する薬剤として適切なものはどれか。

- a ペンタゾシン
- b 硫酸マグネシウム
- c 炭酸水素ナトリウム
- d ガベキサートメシル酸塩
- e 麦角アルカロイド（エルゴメトリン）

(D86) 腹部 X 線あり。新生児だったと思います。

出征直後から腹部膨満を指摘されていた。凄いお腹が膨らんだ写真（外観）もあり。

Hirschsprung 病と判断して、その診断方法を 2 つ尋ねる問題

- a 直腸肛門内圧検査
- b 直腸肛門反射の有無
- c
- d
- e

(D89)(107H18)

我が国における尊厳死について正しいのはどれか。

1. 法的な許容要件が確立している。
2. 文書によるリビングウィルの存在が必須である。
3. 患者の苦痛軽減を目的とする持続的な鎮静のことである。
4. 医師が致死薬を患者に投与して死に至らしめることである。
5. 患者の自己決定権と人間としての尊厳を守ることが目的である。

(D90)

1 型糖尿病について正しいもの

aHLA と関係がある

b 日本人のほうが欧米人より割合が大きい

c 抗ミトコンドリア抗体が指標になる

d 食事をとらなかったときはインスリンを打たない

e β 細胞量の減少とインスリンの欠乏が病態

2015 卒業試験 ブロック不確定問題

1.低血糖をきたさないのはどれか.

- a 褐色細胞腫
- b 低出生体重児
- c 糖尿病母体児
- d 下垂体前葉機能低下症
- e 糖原病 I 型 (von Gierke 病)

2.糖原病 I 型について (von Gierke 病)

3. 38 歳の経産婦. 妊娠 41 週. 陣痛発来と破水とを主訴に来院した. 入院 3 時間後の内診で子宮口は 6cm 開大. 胎児心拍数陣痛図で, 陣痛周期は 1 分 30 秒, 持続時間は 60 秒, 心拍数基線は 160bpm, 基線細変動は 10bpm, 遅発一過性徐脈を示している.

まず投与するのはどれか.

- a インドメタシン
- b 塩酸リトドリン
- c オキシトシン
- d プロスタグランジン F2 α
- e 硫酸マグネシウム

4. 65 歳の男性. 3 日前から続く鼻出血を主訴に来院した. 3 週間前から全身倦怠感を自覚している. 皮膚は蒼白で紫斑と点状出血とを認める. 血液所見: 赤血球 210 万, Hb 7.2g/dL, Ht 22%, 網赤血球 0.1%, 白血球 1,900 (桿状核好中球 1%, 分葉核好中球 18%, 好酸球 1%, 単球 2%, リンパ球 78%), 血小板 0.8 万. 血液生化学所見: 総蛋白 8.1g/dL, アルブミン 4.2g/dL, クレアチニン 0.8mg/dL, AST 32IU/L, ALT 26IU/L. 骨髓生検 H-E 染色標本を次に示す. 治療として適切なのはどれか. 3 つ選べ.

Error! Hyperlink reference not valid.

- a シクロスポリン投与
- b 血小板輸血
- c 免疫グロブリン大量投与
- d 抗胸腺細胞グロブリン (ATG) 投与
- e 同種骨髄移植

5.リハビリテーションで正しいのはどれか.

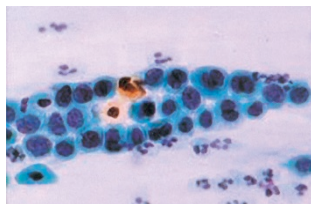
- a 疾病の急性期には行わない.
- b 理学療法に医師の処方不要である.
- c 生活の場を想定してプログラムを立てる.
- d 自立できない重度障害者は対象とならない.
- e 退院後の機能訓練を回復期リハビリテーションという.

6.気胸を合併しやすいのはどれか.

- a 肺分画症
- b 肺胞蛋白症
- c 過敏性肺炎
- d 肺リンパ脈管筋腫症
- e アレルギー性肉芽腫性血管炎

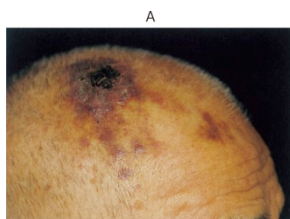
7. 28歳の女性. 未経妊. 子宮頸癌検診で細胞診の異常を指摘され来院した. 内診で肉眼的には子宮腔部に腫瘍形成を認めない. 子宮頸部細胞診 (Papanicolaou 染色) 標本を次に示す. 次に行うのはどれか.

- a 骨盤部 CT
- b 骨盤部 MRI
- c 血中 SCC 値測定
- d 子宮頸部円錐切除
- e コルポスコピー下狙い組織診



8. 90歳の男性. 頭部の皮疹を主訴に来院した. 7ヵ月前に頭部紫紅色斑が出現し, 次第に拡大, 隆起し, 出血するようになった. 頭部の写真 (A) と同部の病理組織 H-E 染色標本 (B) とを次に示す. 診断はどれか.

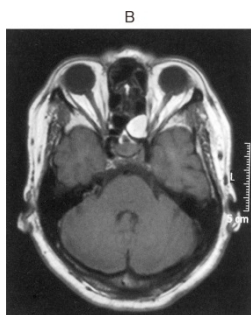
- a 血管肉腫
- b グロムス腫瘍
- c 海綿状血管腫
- d 毛細血管拡張性肉芽腫
- e Kasabach-Merritt 症候群



群

9. 74歳の女性. 左眼の視力低下を主訴に来院した. 1週間前から左眼奥の鈍痛があった. 悪心と嘔吐とはない. 意識は清明. 鼻閉, 鼻漏および頬部の腫脹や疼痛はない. 約 50 年前に副鼻腔炎に対する手術を受けた既往がある. 副鼻腔単純 CT (A) と頭部単純 MRI の T1 強調像 (B) とを次に示す.

対応として適切なのはどれか.



- a 経過観察
- b 抗菌薬投与
- c 上顎洞穿刺
- d 眼窩減圧術
- e 鼻内篩骨洞手術

10. 16 歳の女子。全校集会で長時間の立位後に失神して倒れたため校医を受診した。目撃者によると意識は 1 分以内に回復し、すぐに立ち上がることができた。失神前に嘔気と胸痛とを自覚したという。2 年前にもランニング中に失神したことがあった。身体診察で異常所見を認めない。母方の叔父が突然死している。校医は専門医に紹介した。

紹介する根拠となった病歴はどれか。3 つ選べ。

- a 運動中の失神
- b 失神前の胸痛
- c 失神の持続時間
- d 突然死の家族歴
- e 長時間の立位後の失神

11. ピンク色で泡沫状の痰を伴うのはどれか。

- a 肺癌
- b 肺炎
- c 肺水腫
- d 肺梗塞
- e 気管支喘息

12. 正しいのはどれか。

- a 気管は第 4 胸椎の高さで左右に分岐する。
- b 右主気管支は左主気管支よりも長い。
- c 末梢肺静脈は気管支と並行して走る。
- d 呼吸細気管支が分岐して終末細気管支となる。
- e ガス交換は肺胞孔で行われる。

13. 外傷後、後腹膜に液体貯留している。損傷している臓器として可能性の低いのは？

- a. 腎臓
- b. 十二指腸
- c. 脾臓
- d. 上行結腸
- e. 膵臓

14. 肝細胞癌に対する肝動脈化学塞栓療法で正しいのはどれか.

- a 抗菌薬を注入する.
- b 肝予備能に影響する.
- c 門脈本幹閉塞例に施行する.
- d ラジオ波焼灼術と併用しない.
- e 腫瘍が 3 個以上では適応とならない.

15. 抗原提示機能があるのはどれか. 3 つ選べ.

- a B 細胞
- b 好中球
- c 好酸球
- d 樹状細胞
- e マクロファージ

16. わが国の国民医療費で正しいのはどれか. #

- a 年間 50 兆円を超える.
- b 国民健康保険で給付される.
- c 介護保険の費用も含まれる.
- d 公費負担は 50% 以下である.
- e 対 GDP 比は先進国の中で上位にある.

17. 慢性閉塞性肺疾患〈COPD〉にみられないのはどれか.

- a 口すぼめ呼吸
- b 呼吸音の減弱
- c 肺肝境界の上昇
- d 下部胸郭の奇異性運動
- e 呼吸補助筋を使った呼吸

18. 内痔核で誤っているのはどれか.

- a 直腸静脈叢に発生する.
- b 歯状線の口側に発生する.
- c 好発部位は 3 時, 7 時および 11 時方向である.
- d 排便時に疼痛を訴える.
- e 肛門外に脱出する.